

(事業報告書 (令和6年度))

事業名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ

団体名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ 担当者名 飯田 啓

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容 (日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

今年度は、15家族54名で行った。全体として一斉に集まるのは、令和6年5月26日(日)・7月21日(日)・9月22日(日)・11月10日(日)・12月8日(日)の5回とし、日帰り活動として実施計画を立てた。また、年間を通じて、ファミリースペース(家族の畑)に、家族ごとで都合のつく時間に来ていただき、野菜作り・収穫体験をした。

○第1回 令和6年5月26日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者人数】15家族・49名

【活動内容等】

- ・自然の家に来所していただきファミリースペースの抽選を行い、その後農園荷移動し、家族で野菜の種まきや苗付けを行った。
- ・まやかみ農園の方に、畝の作り方やシートの敷き方などを指導・助言をしていただいた。
- ・玉ねぎの収穫体験を行った。
- ・午後から、家族で野外炊事(カレー)を行った。

○第2回 令和6年7月21日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園・桃園

【参加対象者・人数】15家族49名

- ・2グループに分け、ローテーションで桃の収穫体験とファミリースペースでの活動を行った。
- ・桃園では、まやかみ農園の方から収穫の仕方を聞き、実際に収穫体験を行った。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫・苗付けなど)
- ・午後からは、家族で野外炊事(豚丼)を行った。

○第3回 令和6年9月22日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園・マスカットハウス

【参加対象者・人数】10家族34名

【活動内容等】

- ・移動の関係で、9:30と11:00開始の2部制で行った。

- ・マスカットハウスでは、まやかみ農園の方から「マスカット・オブ・アレクサンドリア」の歴史や津高地区での栽培収穫の様子、収穫の仕方や保存方法などを聞き、収穫体験を行った。
- ・その後、各家族でファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫など)

○第 4 回 令和 6 年 1 1 月 1 0 日 (日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】8 家族 2 6 名

【活動内容等】

- ・2 グループに分けて、玉ねぎの苗付け体験と里芋の収穫体験を交代で行った。
- ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方並びに、来年度のファミリー農園クラブで収穫する玉ねぎの定植の仕方を指導してもらった。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫など)
- ・午後から、竈を使って「焼き板作り」をした後、残り火で野外炊事(焼きそば)を行った。

○第 5 回 令和 6 年 1 2 月 8 日 (日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】1 1 家族 3 8 名

【活動内容等】

- ・野菜(大根・かぶ・じゃがいも・水菜)の収穫体験を行った。
 - ・家族の参加人数相当の野菜が収穫できるように、まやかみ農園の方が作成した野菜収穫リストを参考に収穫体験を行った。
 - ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方・保存方法について指導していただいた。
 - ・ファミリースペースでの活動を行った。(野菜の収穫や畑の整備など)
 - ・自然の家にて昼食後、家族の活動として「フォトフレーム作り」を行った。
 - ・全体での活動が今年度最後になるので、アンケートを行い、活動を振り返ってもらった。
- ※参加できなかった家族には、アンケートを郵送した。

2. ESD の視点

①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

【アンケートより】

- ・桃やぶどうが一つ一つ丁寧に作られていることを知りました。
- ・自分たちが作った野菜を食べることができご飯を大切にすることが生まれました。
- ・野菜はスーパーに並ぶ何カ月も前からたくさんの時間とお世話をされて大きくなっているのだということが分かった。
- ・季節の野菜を意識するようになった。
- ・野菜を食べるときに、どうやって自分のところまでたどりついたかとか考えるようになった。

- ・子育てのように手をかけてやらないといけないと感じたと同時に、野菜作りの難しさと作ってくださる方へのありがたさを一層感じました。
- ・とれたての野菜のおいしさがよく分かった。
- ・食物の材料として、野菜の新鮮さ、色や匂いなどを実感し、収穫後の楽しさを体験できた。
- ・子どもの食べられる物が増えた様子。
- ・これからも野菜を育てて、食事がどうやってできているか、子どもたちに身近に感じてほしい。
- ・いつもスーパーなどで購入してたべていた野菜が出来て、口に入るまで、すごく手がかかっていることを感じました。農家の方に感謝です。
- ・野菜を家で植えてみました。
- ・野菜が育つのはこんなに大変で、時間がかかることなんだと改めて実感しました。
- ・子どもたちも、あんまり好きじゃないものを自分が草を抜いた畑でとれたと思うと頑張って食べることでできていました。食育として大成功だと思います。
- ・野菜を育てることは大変なので、なるべく皮も食べるようになった。
- ・自分で育てた野菜は、無農薬なので安心しておいしく食べられました。

②どのように学び合いを取り入れたか

- ・年間通しての活動だが、全家族が集まるイベントを5回計画し、農業専門の講師をお願いした。
- ・新たな体験や経験として果物や野菜の収穫を織り込んだ。
- ・農業体験だけでなく、家族の活動として野外炊事やクラフト活動を行うことにより、家族同士の学びを共有しやすいようにした。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

- ・収穫の喜びが味わえるように、1回目は自分の畑の種まき・苗付けだけでなく玉ねぎの収穫体験を行った。
- ・岡山の特産品である「桃」や「マスカット」の理解を深めるために果物の収穫体験を取り入れた。
- ・普段は市場に出回らない規格外品等を収穫し料理してもらうことにより、味には違いがなくとれたてのおいしさを感じてもらう。
- ・家族で食事を作り食べることがどんなに楽しいかということを、野外炊事等の活動を通して味わってもらった。
- ・端材や落ちている木の実や枯れ枝なども材料になることをクラフト活動を通じて味わってもらった。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

- ・全家族、これからも機会があれば、農作物を育てたり土に触れたりするなどの農業体験事業に参加したいと回答している。

- ・農作物を育てるという体験ができにくい環境の方にとっては、年間を通して自分たちが体験したことで農業や生産者に対する認識が大いに深まった。
- ・自分たちで野菜を作ることによって苦手な野菜を克服したというご家族おられた。
- ・自分たちが住んでいる岡山の桃やマスカットについて収穫するだけでなく、歴史や栽培方法・収穫の仕方など地元の特産物について認識を深めることができた。
- ・普段は、市場に出ない里芋の種芋や規格外品などを収穫し、食すなど普段ではできないこと体験し、食材・食品に対する意識の変化があった方がおられた。
- ・家族で一緒に活動することは「楽しい」ということを、野外炊事やクラフト活動を通して味わうことができた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

- ・「農業」や「食」に対する思いをもっていただくには、とてもよい取り組みだと考える。
- ・農業体験ができるということで応募者が多いこともあり、今年度からコロナ前の募集人数に近い家族で活動した。このことにより、実際に活動する家族が増え、「農業」や「食」に関して理解が広がると考えている。しかし、お借りしている畑のスペースや収穫体験を行う桃畑やマスカットハウスの大きさの関係で、希望者全員参加ということにはできない。今後も抽選で当選された方の活動になる。
- ・自宅からファミリースペースまでの道のりが長いとなかなか頻繁に活動できていない家族がいるようである。自分のお家の近くに貸してもらえる畑がないか探されている参加家族もおられるので、岡山市内の休耕地をうまく活用できるようなシステムが構築できるとよいのではないかなと思う。

岡山市立自然の家 ファミリー農園クラブ

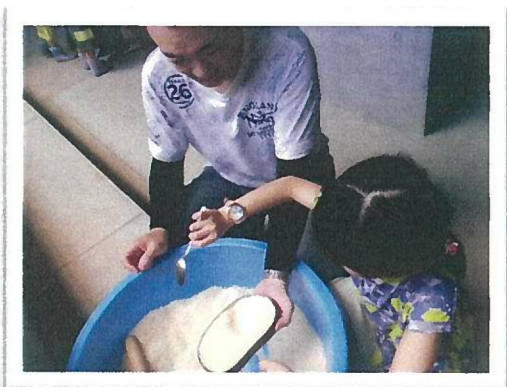
活動の様子

第1回 5月26日 玉ねぎ収穫 ファミリースペース 野外炊事



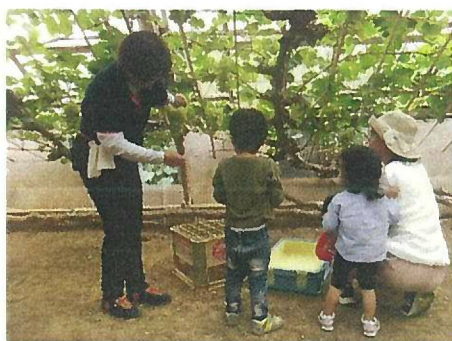
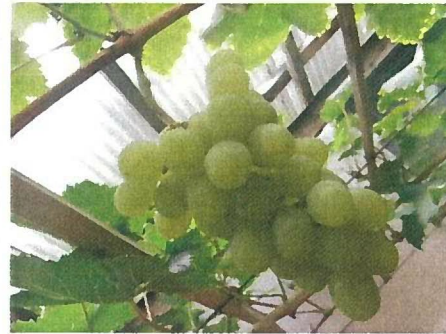
みんなで新玉ねぎを収穫しました。畑作りはなかなか大変でしたが、収穫が楽しみです。家族同士で協力して、カレーを作りました。おいしくいただきました。

第2回 7月21日 桃の収穫 野外炊事



初めて桃畑に入った人もいます。どの桃をもぐか思案します。おいしい桃が取れました。畑では、きゅうりが巨大化していました。草取りもなかなか大変です。野外炊事は、今回は飯盒を使いました。火の近くは、暑すぎます。ちなみにメニューは豚丼です。

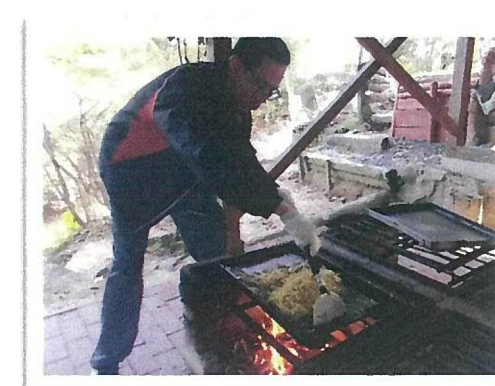
第3回 9月22日 マスカット収穫



活動予定日より、1週間早くの開催となりました。温暖化の影響もあるのでしょうか。マスカット・オブ・アレキサンドリアを作っている農家さんは、減っているそうです。

初めて入るマスカットハウスが楽しかったです。

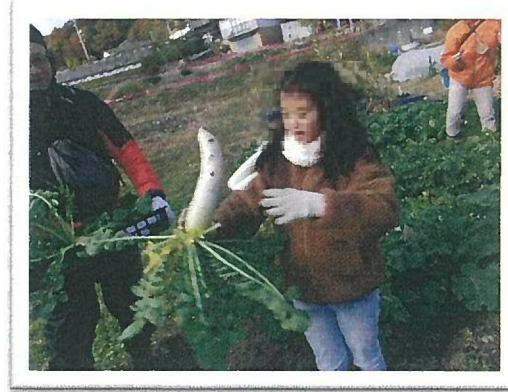
第4回 玉ねぎの苗付け 里芋の収穫 焼き板製作 野外炊事



来年度の収穫に向けて、玉ねぎの苗付けをしました。里芋も一人一株掘りました。里芋の親芋も食べることができるそうです。家に持って帰って食したいと思います。

自然の家に帰って、「焼き板作り」に挑戦です。12月には、この焼き板に飾いを付けて「フォトフレーム作り」の予定です。その後、焼きそばを焼いて昼食です。

第5回 12月8日 冬野菜の収穫



冬野菜の収穫は、大根・かぶ・水菜・じゃがいもなどを収穫しました。大根やかぶが
大きくて抜くのが大変でした。

昼食を自然の家の食堂でとってから、いよいよ、「フォトフレーム作り」です。一人一
個、オリジナルフォトスタンドの完成です。